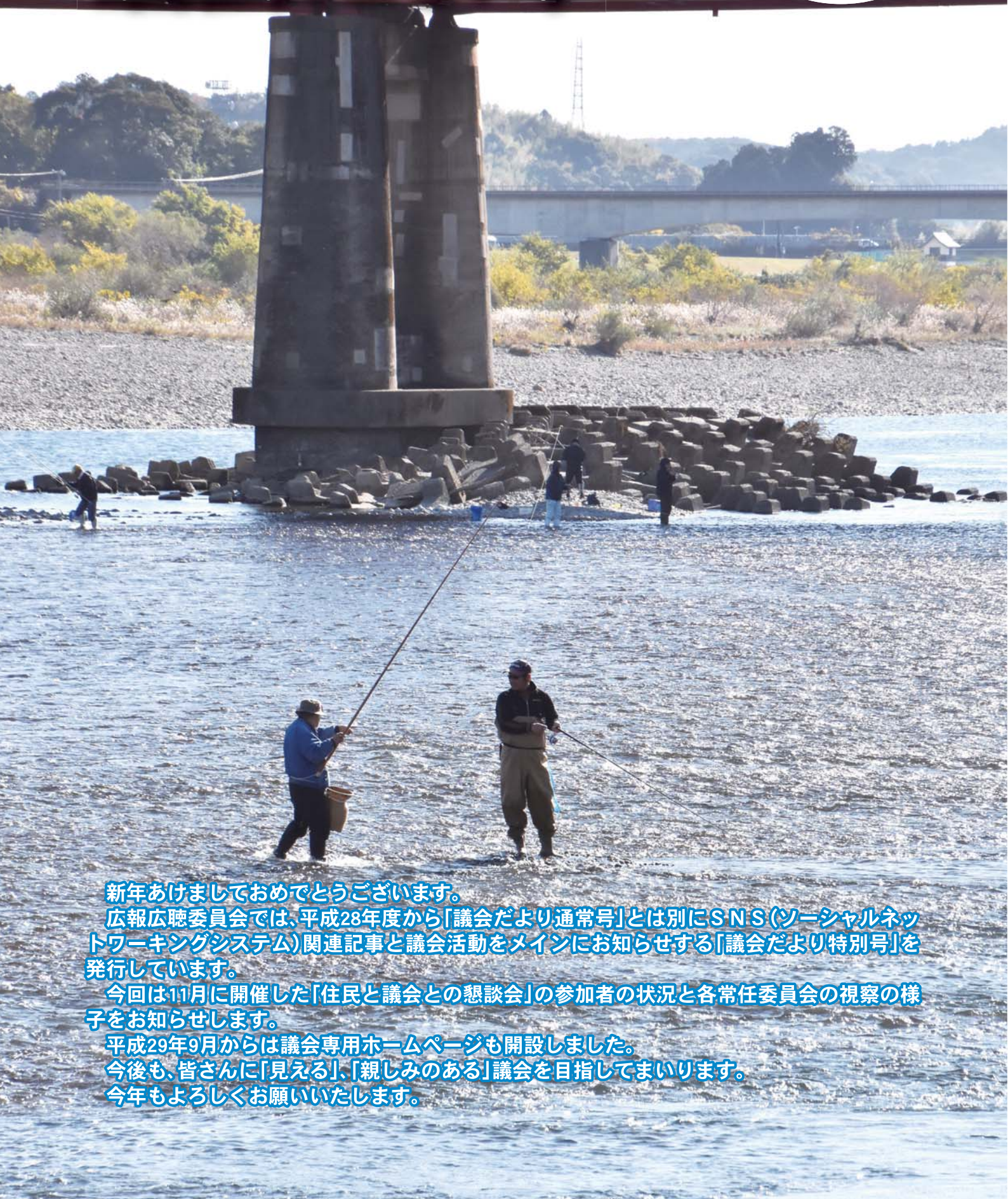


四万十市

議会だより

特別号 No. 5

2018.1月発行



新年あけましておめでとうございます。

広報広聴委員会では、平成28年度から「議会だより通常号」とは別にSNS(ソーシャルネットワーキングシステム)関連記事と議会活動をメインにお知らせする「議会だより特別号」を発行しています。

今回は11月に開催した「住民と議会との懇談会」の参加者の状況と各常任委員会の視察の様子をお知らせします。

平成29年9月からは議会専用ホームページも開設しました。

今後も、皆さんに「見える」、「親しみのある」議会を目指してまいります。

今年もよろしくお願いいたします。

H29.6～12月で「いいね」数が多かったフェイスブック記事

第1位 いいね数 136

8月28日

～「四万十の花火」～

26日土曜日は四万十市の花火大会でした。

まだ、明るいうちから四万十川の河川敷には人がいっぱい！

そして午後8時から、なんと1万1千発もの花火が打ち上げられました。

きれいでしたねー

【事務局投稿】



第2位 いいね数 131

6月27日

～「ユリ街道…」～

先日、西土佐の藪ヶ市に行ってきました。

目的は、という、新聞にも掲載されていたユリ街道に心惹かれていたからです。

そこには、大きくて色とりどりのユリがたくさん咲いていました。恥ずかしいことに、ひとつひとつの名前がわからなかったのですが…

とても素敵な「ユリ街道」でしたよ。皆さんもお時間があれば、ぜひ、行ってみてください。

【事務局投稿】



第3位 いいね数 107

12月1日

～「落ちアユ漁解禁です！」～

今日、12月1日は「落ちアユ」漁の解禁日です(*^^)v

まだ、暗いうちから、皆さん四万十川に出かけていきます😊

今年は豊漁が期待できると新聞に出てましたが、果たして釣果は😊

今日の晩ご飯は「鮎の塩焼き」となるでしょうか <*) >=<

【事務局投稿】



第4位 いいね数 101

7月7日

～「今年も【ゆかた DAY】です」～

今日は七夕ですね。なのに、お天気はよくなさそう。織姫と彦星は会えないかもしれませんね。

さて、今年も写真のとおり庁内で「小京都 ゆかた DAY」やっています。

どうですか？ 夏らしくて、かわいらしくて… 私もあと〇〇歳若ければ…(ムリかな…)

【事務局投稿】



フェイスブック・議会中継等については、市議会ホームページをご覧ください

平成29年12月現在の「フェイスブック」の状況

● ページへのいいね数⇒「1,504人」 ● 総リーチ数⇒「77万回以上」

※フェイスブックには「いいね」ボタンがあります。市議会のページに対して「いいね」と思っていた方の方の数です。

※リーチ数とはフェイスブックの記事が何人の方に配信されたかを知るための数値です。

【年頭のごあいさつ】

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、昭和52年の初出場準優勝以来40年ぶりとなる中村高校野球部の「選抜高等学校野球大会」出場に地域は感動と喜びに沸き活気に満ち溢れました。四国横断自動車道 佐賀～大方間の事業化が決定したことについては、大変うれしく思いますとともに、ご尽力いただきました国土交通省、高知県をはじめとします関係機関の皆様改めて感謝を申し上げます。また、秋篠宮家の長女、眞子様の婚約発表などおめでたいニュースもありました。

その一方で、北朝鮮のミサイル発射や接近する台風に緊張感が高まった年でもありました。

そのような中、中平市政は2期目に突入しましたが、高速道路延伸や防災対策に加え、学校施設整備、学校給食などの子育て支援など確実に成果をあげております1期目に引き続き、今後についても大いに期待をしているところでございます。

市議会におきましては、議会改革の一環として、インターネット中継やフェイスブック、LINE(ライン)、議会だより特別号の発行などに加え、昨年には議会専用ホームページの導入を実現するとともに、現在、議会のチェック機能のより一層の向上と開かれた議会を目指し、「予算決算委員会」の本年3月の設置に向け、取り組みを進めているところであります。

また、昨年より全国市議会議長会 地方行政委員会の副委員長に選任され、地方分権改革の推進、地方議会の権能強化、参議院選挙における合区の解消などについて、協議するとともに国会議員や関係省庁などに対して要望活動も行っております。今後とも地方議会が住民の付託に応え、その機能を十分に発揮できるよう、更なる地方議会の権能強化等諸課題解決に向け、国に対しても強く求めてまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、輝かしく実り多い一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

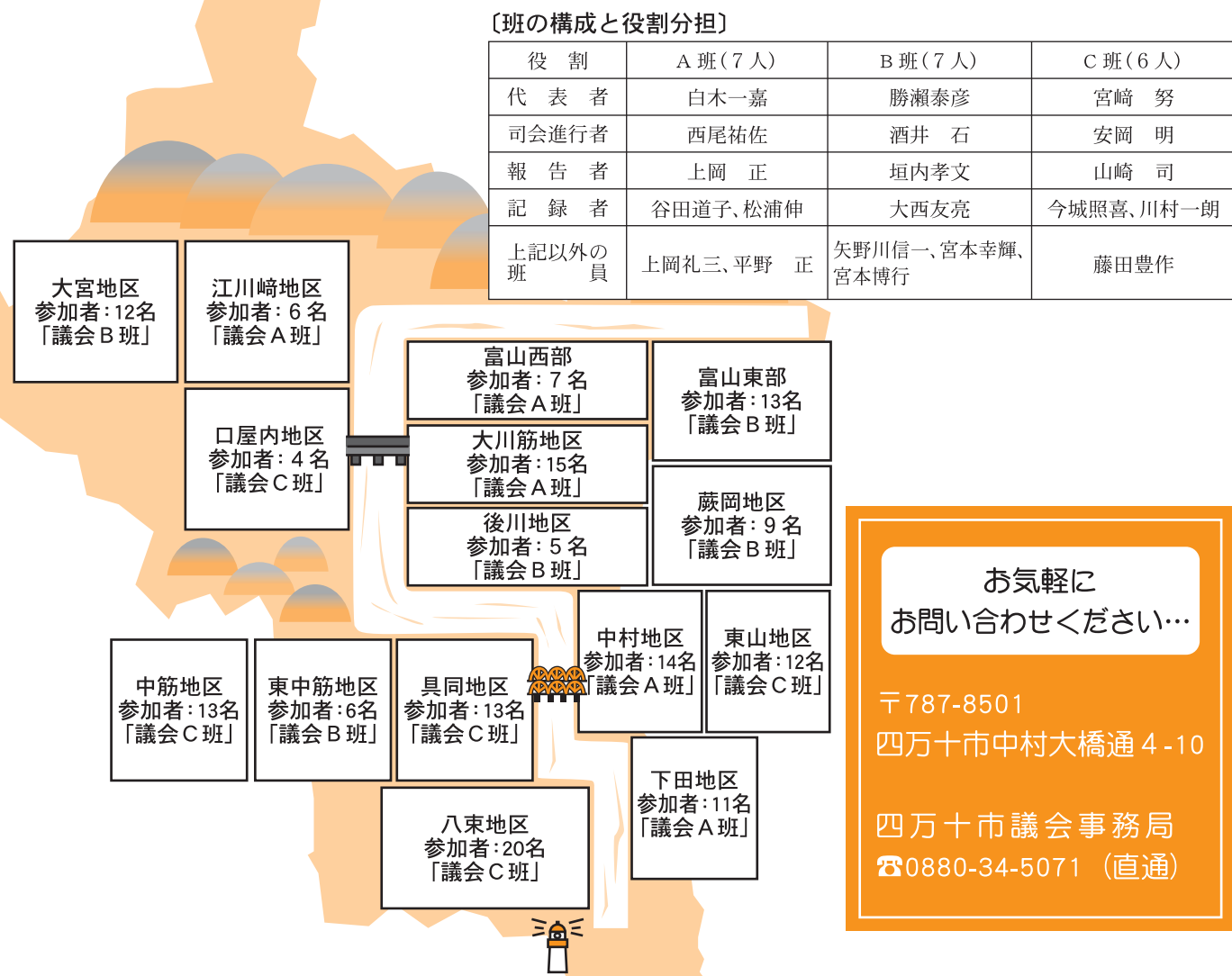


議長：矢野川信一

【住民と議会との懇談会】

議会では、平成29年11月6日(月)～20日(月)の間に懇談会を開催しました。参加状況については次のとおりです。

【参加状況】 参加者合計のべ160名（前年比103.2%）



お気軽に
お問い合わせください…

〒787-8501
四万十市中村大橋通4-10

四万十市議会事務局
☎0880-34-5071（直通）

各常任委員会の視察

【総務常任委員会】

総務常任委員会は8月8日(火)から10日(木)の3日間で委員会視察を行いました。8日(火)は福岡県宗像市で「基金運用」について視察しました。宗像市では国債で基金の運用をすることで財政への一定の好影響を図っています。運用をする会社のプロのアドバイスを受けるなどで運用のリスクを最小限にするようにしています。財政状況の厳しい四万十市でも取り組む必要があります。

9日(水)は島根県雲南市で波多地区コミュニティセンターの取り組みを視察しました。ここでは過疎化で地域の運営が成り立たない状況を改善する取り組みがなされていました。地域防災や地域の「足」の確保や商店の運営などで地域の利便性を確保する取り組みがなされています。高知県の集落活動センターの取り組みのようなものでした。

10日(木)には広島市の土砂災害の復旧の取り組みを視察しました。2年前の豪雨災害で大きな土砂崩れが起きて多くの犠牲を出しました。復旧には多額のお金と日数を要しますが、新しい復興計画のもとで復興が進んでいました。

2泊3日で3県3か所を視察する強行スケジュールでしたが、大変有意義な視察となりました。

【産業建設常任委員会】

10月3日～4日にかけて、新潟県糸魚川市のわさび栽培事業と金沢市の無電柱化につきまして、行政視察を行いました。

わさび栽培事業では、1棟が9m×30mのハウスで、下に防水マットを敷き、真ん中で1mの段差を付け2段式とし、厚さ1mに栗石・碎石・砂利の順で栽培床を設置し、1万本のわさび苗を植え、VP管に穴を開け、一株ずつ注水し、2年間で一株に平均4本のわさびが育ち、1本がソーセージほどの大きさに成長します。まさに、驚きの技術でした。

現在、四万十市では、市の産業として発展させるために、この栽培技術を取り入れ、間崎地区で、実証栽培を行うべく、プラント及びハウスを建設中であり、何種類かのわさびを植え付け、現状に適した品種を選択する計画であります。

10月4日には、金沢市役所で、安価に出来る無電柱化で日本でも有名な、金沢方式の研修を行い、無電柱化の街並みを視察しました。事業費を抑えるために、軒下配線方式を行っており、トランスは、地上に設置し、建物の色に合わせるなど、景観に配慮し、古き良き街並みを創出しており、この街並みを見学に来る観光客の多さに驚きました。

四万十市も、防災・観光・まちづくりの観点から、繁華街等をモデルとして、無電柱化を取り入れる事が出来ないか、検討中ではありますが、補助事業が導入出来る一定の電力使用料のある街並みが無いため、今のところ、国の交付金で行う事業が考えられます。

いずれにしても、トランス設置や、軒下配線を行うためには、住民の合意形成が必要となります。

【教育民生常任委員会】

教育民生常任委員会では、10月30日から11月1日の日程で、宮城県仙台市の「学校におけるICT(※1)活用事業」について、同県富谷市の「学校支援ボランティア事業」について行政視察を行いました。

仙台市においては、情報化が急速に進展する社会の中で、子ども達が未来社会を切り開く資質・能力を養うための「情報活用能力」育成の重要性の観点からH28年度の情報教育予算6.7億円(決算額)、H29年度は10億円の予算計上を行うなど、積極的な推進が図られており、教員の機器活用や指導力向上、更には情報モラル教育の推進やセキュリティ対策などの取組もみられました。

このような積極的な取組をまずは本市なりに検証し、取り入れられるところから推進を図るべきで、今後のプログラミング教育推進のうえからも学校現場における教員のIOT(※2)活用の力量アップの研修会等の重要性も感じました。

富谷市においては、H20年度から文部科学省の「学校支援地域本部事業」としてスタートし、「学びのまち富谷」をスローガンに掲げ、地域全体で子どもを育てる環境づくりに取組んでおり、現在では、公民館活動と連動した5地区に学校支援地域本部が組織化され、個別なテーマのもと、学校と地域が一体となり、活発に活動を展開していました。このように地域住民が一丸となって、地域の子どもの達を大切に育てている姿は素晴らしく、本市においても大変重要であると考え、今回の視察を参考に出来るところから取組を前進させていきたいと考えます。

※1：ICT(Information and Communication Technology)は「情報通信技術」の略。教育現場においては、文部科学省が公立学校においてパソコンやデジタルテレビを導入し、子どもたちの情報活用能力の育成を図るための「ICT環境整備事業」を展開している。

※2：IOT(Internet of Things)の略で、「モノのインターネット」と呼ばれることもある。建物、電化製品、自動車、医療機器など、パソコンやサーバーといったコンピューター以外の多種多様な「モノ」がインターネットに接続され、相互に情報をやり取りすること。

